

【担当教員名】 宮岡 洋三、川上 心也	対象学年	1	対象学科	理学（前半）・作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修・必修
	単位数	1	時間数	30・30

【概要】
本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（講義用の教科書と生理学サイト<http://www.nuhw.ac.jp/physiol/>）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。

【学習目標】
1. 本学の「生理学サイト(<http://www.nuhw.ac.jp/physiol/>)」にアクセスし、実習資料を入手できる
2. 入手した実習資料を基に、実習遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる）
3. 実習に参加して（【履修上の留意点】を参照）、必要なデータを採取できる
4. 採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる
5. まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1, 2	実習ガイダンス		実 習（宮岡、川上）
3~5	体性感覚：表面感覚（感覚点） 皮膚感覚点の検索		実 習（宮岡、川上）
	体性感覚：深部感覚 重量弁別の実験		実 習（宮岡、川上）
6~8	体性感覚：表面感覚（二点弁別） 二点弁別閾値の測定		実 習（宮岡、川上）
	心臓機能：心電図（ECG）の記録・解析		実 習（宮岡、川上）
9~11	循環機能：血圧の測定		実 習（宮岡、川上）
	呼吸機能：肺活量・1秒率の測定		実 習（宮岡、川上）
12~14	運動機能：表面筋電図（EMG）の記録・解析		実 習（宮岡、川上）
	消化機能：唾液分泌量の測定		実 習（宮岡、川上）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	講義の教科書（大地陸男著「生理学テキスト第4版」、文光堂、2003年） 本学図書館には、生理学に関する各種書籍・ビデオがあるので、自主的に参考にして欲しい。			
その他の資料（必須）	「生理学サイト」（ http://www.nuhw.ac.jp/physiol/ ）			

【評価方法】 実習科目であるため、「出席（参加）」を重視する。「出席」と「レポート」を評価全体の80%とする。残る20%の評価は「期末試験」とする。	【履修上の留意点】 実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。 なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。
---	--